



専門家復興へエール

大阪大野田村サテライト開設

学生ら参加しフォーラム

東日本大震災の被災地に関する研究に携わる大阪大大学院の学生らの拠点施設、大阪大野田村サテライト(代表・渥美公秀教授)が11日、村内に開設された。同所で記念のミニフォーラムが開かれ、国内外の専門家が野田村の復興にエールを送ったミニフォーラム

国内外の災害復興に関する専門家が訪れ、村の再生に向けてエールを送った。

サテライトは、村立野田中学校近くに建てられた2階建てプレハブ住宅に入居した。

フォーラムには、学生や村の関係者ら約30人が出席。渥美代表が「村民、学生、教員らが互いに学び、高め合

国内外の災害復興に関する専門家が訪れ、村の再生に向けてエールを送った。

サテライトは、村立野田中学校近くに建てられた2階建てプレハブ住宅に入居した。

フォーラムには、学生や村の関係者ら約30人が出席。渥美代表が「村民、学生、教員らが互いに学び、高め合

バイスした。

被災者ケアが専門の北海道大の定地祐季助教は「復旧を急ぐ分野と、徐々に進めていく分野を見極めた方がいい」と指摘した。

八戸工業高等専門学

校の河村信治教授は、自身が関わる、同村の被災者を支援するボラティアネットワーク「チーム北リアス」の活動を紹介した。

(井上周平)